

抗 Nestin 抗体、ラットモノクローナル (7A3)

商品コード	73-100
容量	200 µg
保存	-20℃
濃度	1.0 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマ培養上清から種々のクロマトグラフィーを用いて精製した
抗原	マウス E16 期胚の脳皮質抽出液
アイソタイプ	ラット IgG2b κ
反応性	マウス Nestin。他の種はテストしていない。
特記事項	この抗体はラットの抗体であるので、マウス胚の脳の免疫染色に有用である。ラットの抗体はマウスの組織染色においてバックグラウンドが極めて低い。また、マウスやウサギ抗体との二重染色にも有効である。
アプリケーション	1. 免疫細胞化学 2. 免疫組織化学 この抗体はイムノプロットングには適さない。
背景	Nestin は、ほ乳類の胎生期、中枢神経系形成過程において多潜性幹細胞(stem cell)に選択的に発現している中間径フィラメントタンパク質である。 Nestin は分化が進むと発現が消失し、成体では他の中間径フィラメントタンパク質に置き換わるが、虚血、炎症、脳傷害、腫瘍などの病的状態において再び発現が見られる。 Nestin は多くの腫瘍、特に中枢神経系の腫瘍において検出されるので、神経系腫瘍の癌幹細胞マーカーとして注目されている。
データリンク	UniProtKB Q6P5H2 (マウス)
文献	Iriuchishi H. Neovascular niche for human myeloma cells in immunodeficient mouse bone PLoS One . 2012;7(2):e30557. PMID: 22347385 IHC-F (mouse)
関連商品	73-105 抗 Nestin 抗体, ウサギポリクローナル (ST1)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 73-100 抗 Nestin 抗体、ラットモノクローナル (7A3)

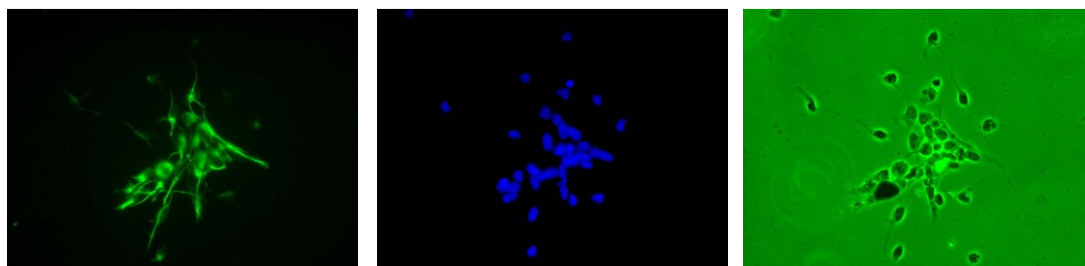


図 1 マウス胚の脳、神経系前駆細胞の初代培養細胞における免疫染色

7A3 抗体による染色（左図）、Hoechst による染色（中央）未染色（右図）

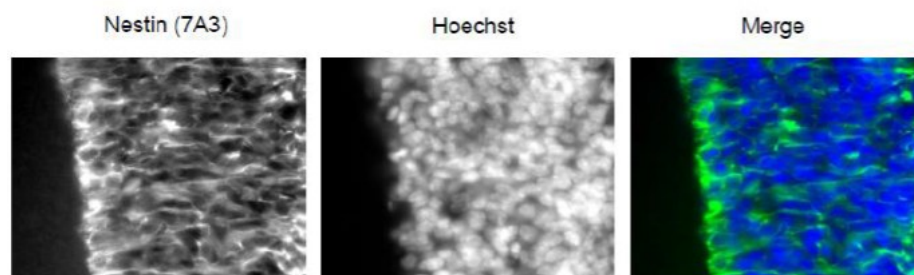


図 2. マウス（E 1 6）の大腦皮質の凍結切片の抗 Nestin 抗体による組織免疫染色.

7A3 抗体（1/100 希釈）による染色（左図） Hoechst による DNA 染色（中央）両者を重ねた図（右図）